

教科 技術家庭(家庭分野)

単元名	月	時数	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
C消費生活・環境 (1)金銭の管理と購入 (2)消費者の権利と責任	4～6月	6	・計画的な金銭管理の必要性、売買契約の仕組み、消費者被害とその対応について理解しているとともに、選択に必要な情報の収集・整理が適切にできる。	・物資・サービスの選択に必要な情報の活用について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	・物資・サービスの選択に必要な情報の活用について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。
幼児生活	6～3月	12	・消費者の基本的な権利と責任、消費生活が社会に及ぼす影響について理解している。  ・中学生の1日に必要な食品の種類と概量について理解しているとともに、献立の作成が適切にできる。	・自立した消費者としての消費行動について、問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。  ・中学生の1日分の献立について、問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	・自立した消費者としての消費行動について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。  ・中学生の1日分の献立について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。